善教寺
ZENKYO-JI

寺報 縁

2026年（令和８年）
No. 372
１１月号
Zenkyo-ji monthly Communications Paper
En ［えん］

Buddhist ruins exploration record at silk road

シルクロード仏教遺跡探訪記

全３７日間

２１日目【2000年5月4日 正午】
絶望感を味わう〈ハミ（哈密）〉前半


ハミ（哈密）のモスク

さて、愚痴はこれくらいにして、到着したハミ（哈密）について、情報をお伝えしておく。

西安から一路北西に進んできたシルクロードが、敦煌から三つの道に分かれている。一つ目の道が天山北路、二つ目の道が天山南路、三つ目の道が西域南道。

敦煌から、天山北路で最初の大きな町がハミ。大きいと言っても人口約30万人、その四割が少数民族とのこと。

ここから、いよいよ苛酷な砂漠の旅に突入するのである。

今回は行けなかったが、敦煌から天山南路を進むと『玉門関』がある。ここで「孤城遥望玉門関（孤城 遥かに望む玉門関）」と唱い、王維が親友である元二の新疆省庫車への出立を見送ったとのこと。

「渭域の朝雨　軽塵を浥し　客舎　青青　柳色新たなり」
「君に勧む　さらに尽くせよ　一杯の酒を　西のかた陽関を出ずれば故人無からん」

このように絶唱して、出立を見送ったようである。

これらの関所を越えれば、その先はすでに西域。

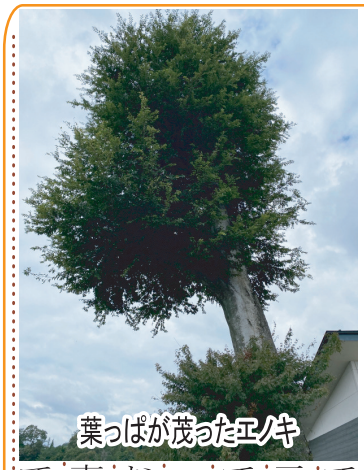

モスクの玄関

住職レター

善教寺駐車場に、とても大きなエノキの樹がシンボルのごとく生えております。樹高約二十メートル。毎年、青々と葉っぱを茂らせます。この葉っぱが落ちて、駐車場に色を添えてくれる、という風情あるものではなく、正直申しますと、落ち葉を集めて、それを処分するのが大変。という訳で、今年もまた、葉っぱが落ちる前に、業者さんに剪定してもらいました。高所作業車を使っての剪定作業ですから、費用も大変であります。

このエノキの樹が生える善教寺駐車場は、善教寺が誇れることの一つであります。田舎の寺ゆえに、広々とした参拝者用の駐車場となっております。余裕で、普通車三十から四十台は駐車できるでしょうか。

大きな法要時でも、参拝者とお世話される方が、各自一台の車で来られても、駐車場に関しては、全く問題ありません。


葉っぱが茂ったエノキ

この広々とした駐車場は、他の寺の住職さん方からも、とても羨ましがられます。なんせ昨今は車社会、駐車場を整備していないと、話になりませんから。

この自慢の駐車場、少し問題を抱えております。整備のため、砂利を入れたのですが、どうやら入れ過ぎてしまったようです。駐車された車のタイヤが、砂利に埋まってしまうトラブルが、何件か発生しました。早急に、対策をしなくてはと思っております。トラブルに遭われた方、申し訳ありませんでした。


剪定後のエノキ（手前砂利が駐車場）

発行日：2026年10月25日（毎月25日発行）発行所：浄土真宗本願寺派 善教寺
〒739-0036 東広島市西条田口500-4
TEL(082)425-1357 FAX(082)425-1248

Buddhist ruins exploration record at silk road

シルクロード仏教遺跡探訪記

21日目【2000年5月4日 正午】 全37日間

絶望感を味わう〈ハミ（哈密）〉後半

西域の砂漠へ足を踏み入れることは、当時の漢民族の旅人にとっては、まさに命がけだったとのこと。砂漠を歩みを進めた先の「異国」が、現在の新疆ウイグル自治区と呼ばれる、この地であったようである。

これは、人口比にも表れている。チベット自治区、内蒙古自治区と共に、中国三大自治区を構成するこの新疆ウイグル自治区には、人口1300万人のうち、ウイグル族45%、漢族40%、その他にカザフ、内蒙古、キルギス、シポ、タジク、ウズベク、満州、カタール、ロシア、ダフールと、計13民族が居住しているとのこと（1992年数値）。



モスクの内部



モスクの内部

今後の法要スケジュール

「護持会報恩講」（善教寺本堂）
十月 三十一日（土曜日）
午前十時～ 朝席
午後一時半～ 昼席
午後三時半 法要終了
講師 広幡 康祐 師（呉市安浦町 信楽寺）

「宗祖聖人月忌・門信徒祥月命日法要」（善教寺本堂）
十一月 十六 日（月曜日）
午後一時半～
＊毎月十六日に本堂において勤めております。

「報恩講」（善教寺本堂）
十二月 二 日（水曜日）
午前十時～ 朝席
午後一時半～ 昼席
午後三時半 法要終了
講師 徳正 俊平 師
（三原市大和町 徳正寺）
＊お接待当番 井ノ邑地区

